

平成20年10月31日

各 位

上場会社名 株式会社日本触媒
 代表者 代表取締役社長 近藤 忠夫
 (コード番号 4114)
 問合せ先責任者 総 務 部 長 内海 勝議
 (TEL 06-6223-9111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月8日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	162,000	7,600	8,500	5,000	27.73
今回発表予想(B)	172,000	5,800	7,200	2,100	11.66
増減額(B-A)	10,000	△1,800	△1,300	△2,900	――
増減率(%)	6.2	△23.7	△15.3	△58.0	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	148,455	10,657	12,099	7,827	42.64

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	345,000	20,000	22,000	13,600	75.84
今回発表予想(B)	350,000	15,000	17,000	6,100	34.06
増減額(B-A)	5,000	△5,000	△5,000	△7,500	――
増減率(%)	1.4	△25.0	△22.7	△55.1	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	302,669	18,379	20,745	11,875	64.91

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	121,000	6,400	8,600	5,300	29.39
今回発表予想(B)	125,100	5,200	7,900	3,300	18.32
増減額(B-A)	4,100	△1,200	△700	△2,000	――
増減率(%)	3.4	△18.8	△8.1	△37.7	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	113,043	8,986	11,568	7,579	41.29

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	250,000	16,300	20,400	12,600	70.25
今回発表予想(B)	252,000	13,800	17,800	9,500	53.03
増減額(B-A)	2,000	△2,500	△2,600	△3,100	――
増減率(%)	0.8	△15.3	△12.7	△24.6	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	231,151	16,286	19,815	11,707	63.99

修正の理由

(第2四半期連結累計期間)

・ 国産ナフサ価格は予想値65千円/KLから77.7千円/KLと大幅な高騰に伴って、原材料価格が高騰、一方、製品価格は十分な値上げが達成できず、スプレッドの縮小を余儀なくされ、営業利益等が当初予想値より悪化する見込みです。更に、有価証券評価損等を見込んでおりますので、四半期純利益が大幅に減少する予想です。

(通期)

・ 通期の業績予想につきましては、第3、第4四半期において、世界的な金融危機に端を発し、国産ナフサ価格は大きく低下、為替は円高傾向にあり、需要は減退が予測されますので、全般的に業績を下方修正いたします。

・ 下期修正見直の前提(当初予算→修正見直)

ナフサ価格65千円/KL→65千円/KL、為替 \$ = ¥105→¥105、ユーロ = ¥160→¥145

個別業績予想についても、連結業績予想と同じ理由によるものです。

なお、上記の予想は現時点において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上